

# 中道改革連合 締領

近年、世界はインフレの進行と国際秩序の動搖の中で、  
極端な思想や社会の不安を利用して、分断を煽る政治的手法が台頭し、  
社会の連帶が揺らいでいる。

日本においても、  
右派・左派を問わず急進的な言説が目立ち始め、  
多様性を尊重し、共に生きる社会を築こうとする努力が、  
いま脅かされている。  
この現実を前に、政治が果たすべき責任は重い。

対立を煽り、分断を深める政治ではなく、  
対立点を見極め、合意形成を積み重ね、  
生活者ファーストの政策を着実に前へと進める中道政治の力が求められている。  
それは困難な現実に正面から向き合い、  
最適解を導き出す、最も責任ある政治の道である。

私たちの掲げる理念は、  
「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義」である。

国民一人ひとりが自分らしく生き、その活力が社会の発展を支える政治を目指す。  
国家やイデオロギーのために国民を従わせる政治ではなく、  
人間の尊厳を守り抜く政治を、  
我が国の中心に据え直すという、揺るぎない決意である。

「中道改革連合」は、  
多党化が進み、政治が揺れ動く時代にあって、  
極端主義に立ち向かい、  
不毛な対立によって社会が引き裂かれるのを防ぐ  
責任ある中道改革勢力として立ち上がる。  
国民の利益と幸福に奉仕する国民政党として、  
国民が求める改革を主導する基軸となることを目指す。

そのために、私たちはここに、5つの政策の柱を掲げる。

## 第1の柱

一人ひとりの幸福を実現する、持続的な経済成長への政策転換

人への投資や生産性革命等を通じて、  
持続的賃上げを実現し、  
経済成長を分配へつなげ、生活者の豊かな暮らしを実現する。

## 第2の柱

現役世代も安心できる新たな社会保障モデルの構築

持続可能な経済成長を実現し、弱者を生まない社会を築くために、  
誰もが必要な支援にアクセスできるよう、  
教育・医療・介護などのベーシックサービスを充実させ、  
現役世代の負担に配慮した、持続可能な社会保障を実現する。

## 第3の柱

選択肢と可能性を広げる包摂社会の実現

教育格差の是正、ジェンダー平等、多文化共生、  
気候変動対策を進め、  
誰もが自分らしく生きられる社会をつくる。

## 第4の柱

現実的な外交・防衛政策と憲法改正論議の深化

憲法の平和主義に基づく専守防衛を基本に、  
日米同盟と平和外交を軸とした、  
国民の平和と安全を守る現実的な外交・防衛政策を進める。

## 第5の柱

不断の政治改革と選挙制度改革

政治への信頼を回復するため、  
政治資金の透明化を断行し、  
民意が正しく反映される選挙制度改革など、政治改革に取り組む。

「中道改革連合」は、  
改革の軸として、理想を掲げながら現実的な政策実現のために結集する。  
その責任を果たす覚悟を持って、私たちは新たな歩みを始める。

(令和8年1月15日決定)